

★ 新春に願いをこめて

各地区でとんどや弓祈禱



11日(土) 岩城とんど(西部)



11日(土) 生名とんど(生名グラウンド)



11日(土) 佐島弓祈禱(八幡神社)



12日(日) 下弓削とんど(松原)



16日(木) 魚島とんど(井ノ浦)



18日(土) 上弓削とんど・弓祈禱

★ 元気いっぱいお披露目

各地区保育所発表会

11月から12月にかけて、各保育所において発表会が開催されました。園児たちは可愛い衣装を身にまとい、工夫をこらした演劇や歌、合奏などを元気いっぱい披露しました。

11月2日(土) 弓削保育所



11月9日(土) 生名保育所



12月7日(土) 岩城保育所



変化に挑む勇気を!

内外ともに騒然とした世情となっています。一つ間違えば後戻りできないところまで来てしまったようです。多くの問題を先送りしてきたつけが、ここにきて一気に噴き出したといった方が良いのかもしれませんが。

社会の取り決めとして法律などに基づく数々の制度がありますが、その多くが正常に機能しなくなっている感があります。明らかな制度疲労です。

上島町においてもしかりです。右肩上がりの社会情勢ではどうとでもなっていたものが、緊縮財政になるととたんに身動きが取れなくなるのです。議会の一般質問でも指摘がありましたが、特別会計などを含め、慢性的に赤字体質となっている部分が多くなっています。例えばR元年度の一般会計からの繰入額は概数で、海光園で1億5200万円、国民健康保険で1億5050万円、介護保険で1億5990万円、公共下水道で2億5700万円、農業集落排水が4570万円、CATVで7050万円、魚島船舶が5600万円、また一般会計でも芸予汽船の負担金に4600万円、潮湯の運営に約3870万円等々となっています。

これらの内容を分析していくと、要因はそれぞれ異なりますが、施設の作り方や制度設計に無理がある場

合が多く見受けられます。福祉関係の保険事業など国県の事業と連動しているやむを得ないものもありますが、町で組み立てる事業では、補助事業ありきで始めると補助基準をクリアするためにガチガチの身動きが取れないシステムになっていくようです。町民の皆さんにとってなくてはならないものほど現行制度の変革には大きな痛みが伴うはずですが、しかし、問題を先送りすることによって将来の負担が雪ダルマ式に膨らむことになってはいけません。個々の事業について将来を見据えた改革に早急に取り掛からねばなりません。

個々の問題点の洗い出しは勿論ですが、将来この町にどのように役立つかという方向性を見極めることが一番大切な視点となります。「いままでどおり」でいいという考え方では早晚ゆでガエルになってしまうのは火を見るより明らかです。そのうえで出来ることから始める、一歩を踏み出すことが重要なのです。方向性を見極める試行錯誤となりますので、悪戦苦闘となりますが、座して死を待つよりは遥かに高い可能性が生まれます。今までの当たり前を捨てて変革のための勇気のある一歩を踏み出すではありませんか。

上島町長 宮脇 馨

町長の独白



CONTENTS

広報かみじま
2020年2月号 第185号



今月の表紙

生名島では小学生が「とーんどじゃ、しーめじゃ」とはやしながら、正月飾りを集めます。 ※しめ=しめ縄

- 2 町長の独白 / 目次
- 3 島々の話題
- 4 祝 成人
- 6 健康だより
- 8 上島の遺跡 / 島おこし協力隊活動報告
- 9 LETTERS FROM SCHOOL
- 10 ALTコーナー / 観光協会だより
- 11 上島の文芸 / KAMIJIMA KITCHEN
- 12 しまなみ農業だより
- 13 防災だより / 消防だより
- 14 確定申告に関するお知らせ
- 16 お知らせ
- 18 島々の話題
- 20 戸籍だより
- 21 行事カレンダー / 潮汐表
- 22 KAMIJIMA SNAP / 潮湯だより